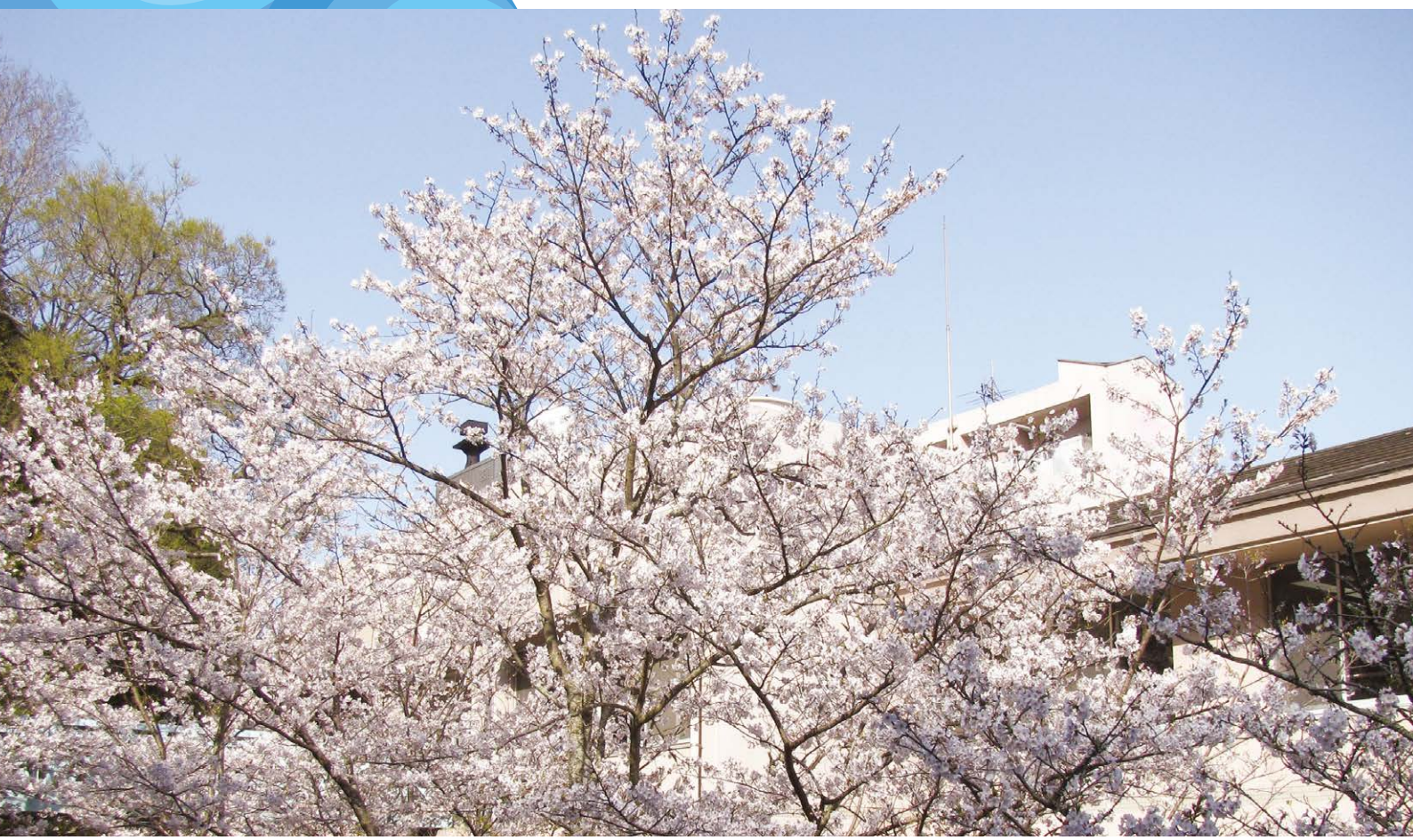
2020 春号 vol.37
今津赤十字病院広報誌

今津日赤だより



表紙写真　職員撮影：今津赤十字病院に咲く桜の花

基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

基本方針

1.地域医療
地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

2.全人的医療
病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

3.医療と福祉の架け橋
医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

TOPICS

ご挨拶 …… 1
新入職員紹介① …… 2
新入職員紹介② …… 3
院内の感染予防対策について …… 4
家の中でもできる簡単トレーニング …… 5
連携リレー紹介（糸島医師会病院） …… 6

今津赤十字病院
日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

ご　挨　拶

今津赤十字病院院長
藤井弘二（ふじい　こうじ）

令和の時代も早いもので2年目になり、皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。当院広報誌の春号の発刊にあたり、ご挨拶させていただきます。

さて、ここ数年は大きな災害が続いていますが、昨年も佐賀県を中心とする九州北部豪雨や、台風15号、19号等で甚大な被害が出ました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。気象庁から50年に一度の、あるいは過去に経験したことがないといった発表を聞くことが多くなりましたが、今年が自然災害の少ない年になることを心から願っています。しかしながら、現在、日本でも新型コロナウイルスの感染が拡大しており、当院でもマスク着用、頻回の手洗い、健康管理の徹底等と感染防止対策を強化しております。皆様にもいろいろとご不便をおかけして申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。一日でも早く感染が終息することを願っております。

医療の分野では高齢化のピークが近づく2025年に向けた医療提供体制の再構築、病床機能報告制度や、地域包括ケアへの取り組みがさらに本格化しています。そのなかで昨年9月、厚生労働省から再編、統合の検討が必要と考えられる公立病院等が公表され、議論を呼んでいます。当院は基本的には現在の病棟体制で2025年に向けてのぞむことになります。即ち、引き続き地域の高齢者医療及び認知症医療に貢献していきたいと考えています。地域包括ケアシステムでは、高齢者の方々が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしをできるだけ長く続けられるような支援が求められています。当院も地域包括ケア病棟や訪問看護ステーション、認知症デイケアなどを通して、地域の高齢者の皆様の在宅療養をできる限り支援していきたいと思っています。地域包括ケア病棟への入院の受け入れに際しても、常に退院後の在宅復帰を念頭に診療を進めてまいります。

当院はこれからも地域で必要とされる医療やサービスを提供し、地域の皆様のご期待に沿えるよう職員一丸となって頑張っていきたいと存じます。令和2年、2020年が皆様にとりましてよい年となることを祈念して挨拶とさせていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

新入職員紹介①

内 科

1年と2ヶ月ぶりに育児休暇より職場復帰いたしました森佐保です。今までこれほど長く仕事を休んだことはなく、最初は戸惑っておりましたが、子供とのかけがえのない時間を持たせて頂いたことに、職場の皆様、患者様に感謝申し上げます。これから、地域の皆様のお役にたてるよう、一層頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

もり　さほ
森 佐保　医師

内 科

初めまして、4月より九州大学病院第二内科より赴任してまいりました大石と申します。専門は心臓・血管系疾患ですが、積極的に内科全般を診させていただきます。昨今の感染症流行に伴い患者様やご家族のご不安やご不便さを日々実感する毎日です。今津赤十字病院スタッフの皆様と一丸となって地域の方々の健康と安全・安心を守って行くことが自身の責務と考えています。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

おおいし　としのり
大石 年訓　医師

内 科

4月から赴任してまいりました石束光司と申します。内科外来・入院を担当させていただきます。半年間の勤務予定と短い期間ですが、地域の医療に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。
よろしくお願いいたします。

いしつか　こうじ
石束 光司　医師

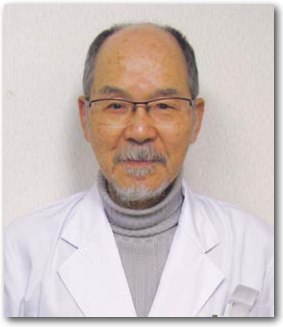
精神科

4月より赴任してまいりました精神科の前田と申します。今津赤十字病院では主に認知症の患者様の治療を担当させていただくことになっております。高齢者は多くの経験、環境因子の影響を受け、最も個人差の大きな時期です。それぞれの患者様にとって何が一番重要なことなのかを常に考え、それを尊重できる医療を提供したいと思います。誠心誠意頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

まえだ　あきら
前田 輝　医師

新入職員紹介②

内 科



なかの　はじめ
中野 元　医師

この度は思いがけずにも、4月より特別養護老人ホーム大寿園に非常勤嘱託医（週2回：火曜・金曜の午後のみ）としてお世話になります中野元（昭和４０年卒）と申します。
日赤とは不思議なご縁で、昭和５２年より２３年間、福岡赤十字病院に消化器内科医として勤務させていただいた経験があり、今回は偶然にも２０年ぶりのカムバックとなりました。
取り立ててこれと言った特技もなく何のお役にも立てませんが、このご縁を大切に、勤務医５５年間の集大成として老体に鞭打ち、最後のご奉仕として頑張らせていただく所存です。
我々の大先輩でもあるご高齢の入園者様への感謝と尊敬の念を忘れずに、頼り甲斐のあるスタッフの皆様のご指導を仰ぎながら、無事に勤められればと願う次第です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

内 科

うえはら　けいたろう
上原 景大郎　医師

九州大学病院第二内科（腎臓）より参りました上原景大郎と申します。鹿児島県出身で4月より今津赤十字病院で勤務させていただくことになりました。昨年度まで鹿児島勤務であり、福岡県初心者ですので色々ご指導いただけますと幸いです。毎週木曜日のみの外来診療となりますが、皆様のお役にたてるよう精進してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

神経内科

たかはし　のぶたか
髙橋 信敬　医師

福岡大学病院から参りました髙橋信敬と申します。毎週水曜日に外来、病棟回診等々をご担当させていただいております。私は医師歴5年目の若輩者であり、脳神経内科の経験も浅いです。何でもご相談下さいと大きなことまでは言えませんが、ご相談いただきましたことには精一杯お答えさせていただきたく存じております。どうかお気軽にお話しかけ下さい。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

院内の感染防止対策について

現在、当院玄関において新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染予防のため、検温および消毒用エタノールでの手指消毒を実施しています。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるとされています。

感染管理者
福山（ふくやま） 了平（りょうへい） 検査技師

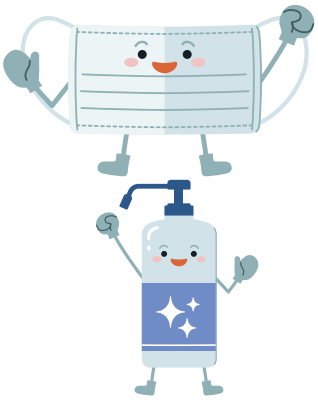
飛沫感染 感染者のくしゃみ・咳・つばと一緒にウイルスが放出され、そのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえたあと、その手で周りのものを触れるとウイルスが着きます。それを他の方が知らずに触り、その手で目や鼻、口を触ると粘膜から感染します。

このような感染を防ぐためには、咳エチケットが重要となります。

咳エチケット　マスクを着用しましょう。

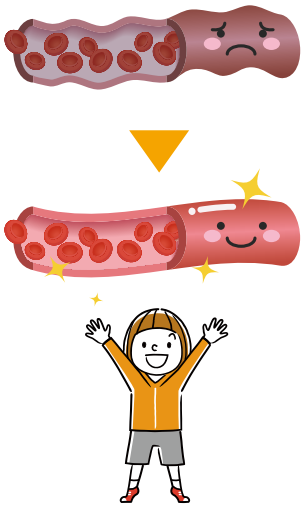
マスクを持っていない場合、くしゃみ・咳が出る場合はティッシュやハンカチ、上着の内側や袖で覆うなどして、ウイルスが飛散しないように気を付けましょう。また、日頃の手洗いも非常に重要です。食事前やトイレ後、外出後には必ず手洗いをするようにしましょう。爪の間、手首も忘れずに洗いましょう。アルコール消毒薬があればより効果的です。



病院内に入る前にアルコール消毒をお願いします。

病院玄関にて検温を実施しています。

運動不足解消！家の中でもできる簡単トレーニング



新型コロナウイルス感染症の流行が続いているなか、外出や運動を自粛されている方が多いかと思います。

厚生労働省によると、私たちは1日に8,000歩～10,000歩ほど、また自宅内においては1日に2,000歩～4,000歩ほど歩いて生活しています。最近の自粛生活で歩くことが少なくなり、運動不足を感じている方も多いのではないでしょうか？

こうした生活が続くと、エコノミークラス症候群にかかる恐れがあります。これは、食事や水分を十分にとらない状態で足を動かさないことで血液が固まりやすくなり、血液の固まり（血栓）ができると血管の中を流れ、肺の血管を詰まらせ、胸痛や失神、呼吸困難に陥る可能性があります。

そこで、家の中でもできる簡単な足の運動についてご紹介したいと思います。

① 足の指

グー

パー体操

足を上下につま先立ちする

② 足首

つま先立ちつま先上げ

足首回し

③ ふくらはぎ

マッサージ

痛みや無理のない範囲でやってみましょう。

参考）厚生労働省ホームページ

第8回 連携紹介 連携病院リレー紹介

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第8回目は糸島医師会病院です。

糸島医師会病院

院長 冨田（とみた） 昌良（あきら） 先生

糸島医師会病院は2019年に設立50周年を迎えました。医師会立の病院として糸島の地域医療に貢献してまいりました。病院の理念は「病める人の立場に立って人権を尊重し、地域医療機関と連携して安全で質の高い医療をめざします。」であります。医師会立ですから、糸島医師会員と密に連携し、後方支援が主体の入院を中心とした診療を行うという考えです。基本的には紹介患者のみ受診可能で継続的な外来診療を行わず、退院後は開業医に診療していただいています。ですから連携医療こそ当施設の病院是となっています。また、同一敷地内にある糸島市休日・夜間急患センターの後方支援病院として救急患者の緊急入院を引き受けています。病床は一般150床（7：1急性期病床97、地域包括ケア病棟39床、緩和14床）です。診療科目は消化器外科・乳腺外科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科。・肝臓内科・神経内科・糖尿病内科・放射線科・緩和ケア科で、　常勤医師数19名です。職員数は約320名で診療に従事しています。職員のクラブ活動も盛んで、バレー、バスケット、ゴルフ、フットサル、軽音楽などのサークルがあります。以前は糸島郡医師会病院という名称でした。前原市の市制施行により郡が外れ糸島医師会病院となりました。平成の一市二町合併で糸島市ができましたが、ここでは糸島市医師会病院へと名称変更せずそのまま現在の名称を使用しています。戦後の行政区割りでは今津赤十字病院は福岡市の病院で当院は糸島市の病院、隣の市ということにまりますが、今津地域は昭和17年に糸島郡から福岡市に編入され、それ以前は糸島郡であったと聞いております。昔のままなら同じ行政地区の病院同士であったということになると思います。同じ地域で協力しあいながらともに発展できると考えています。現在も糸島半島は同じ医療圏だと感じています。

現在、認知症診療や老年医療などご協力いただいており感謝しております。今後とも宜しくお願いいたします。

▼糸島医師会病院 外観

診療案内

＊**診療科目** 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
＊**受付時間** (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
＊**休診日** 土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

今津赤十字病院　外来診療担当表

令和2年4月1日から

診療科目			月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診	石束 光司	森 佐保	富田 祐亮	九大腎臓内科	石束 光司		
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	福大神経内科	藤井 弘二(生活習慣病)	藤井 弘二		
					尾前 豪	大石 年訓	森 佐保		
					古瀬 正徳				
	午後(初診及び再診)		古瀬 正徳	大石 年訓	富田 祐亮	九大腎臓内科	尾前・古瀬		
精神科(認知症外来)	午前	(予約制)初診	応相談					デイケアのみ	デイケアのみ
		再診	田中 和宏	勝冶 一夫	前田 輝	勝冶 一夫	古賀 勝治		
	午後 初診(予約制)		勝冶 一夫	前田 輝	勝冶 一夫	中澤 太郎	勝冶 一夫		
			前田 輝				三原 茜		
							古賀 勝治		

病院へのアクセス

JRでのアクセス

＊JR九大学研都市駅下車の場合
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。
(下記時刻表を参照ください)

＊JR今宿駅下車の場合
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分

送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、送迎バスを運行しておりますので、
お気軽にご利用ください。
※12月31日～1月3日は運休となりますのでご了承ください。

便		第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前		8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院		9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	―	○	○	○	○	―	―	―	○	―

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society
今津赤十字病院
〒819-0165　福岡市西区今津377番地
TEL(092)806-2111(代表)　FAX(092)806-2314
ホームページ　http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/

令和2年5月29日発行　発行／今津赤十字病院
発行責任者／藤井 弘二　編集委員長／山口 秀夫